

おじゃまします

※支援センター登録団体を
取材し活動を紹介します。

= 色鉛筆画を通して地域の中で！ =

色鉛筆画「すみれの会」

5月16日(木)、2007年5月から福祉ボランティアとして訪問している印西市「プレーグ本塾」での活動日に色鉛筆画「すみれの会」をお訪ねしました。

今月の塗り絵はピンクのバラの花。すみれの会のメンバー2名は参加者7名に名前を声掛けをしながら、「私は何歳だと思おう?」と言い合いながら、年齢当てや、バラの花の服を着ていた89歳の女の方に「今日は服とぴったんこだね」など楽しい会話が行き交います。すみれの会の津田さんは「塗り絵をすることだけが目的ではなく、皆さんが元気で楽しそうにしている顔を見られるのがうれしいですね」と話していました。とても明るい雰囲気福祉施設にいることを忘れそうです。

すみれの会は第1(木)が定例活動日ですが、第2(金)、第3(木)、第4(水)、プレーグ本塾の他に栄白翠園、風のむら成田などにもメンバーが順に福祉ボランティアを行っています。会の設立時にサークル活動ではなくボランティア活動をする団体にするということ思いでスタートしましたが、どの施設訪問も9年、10年と継続していることは優しい対応とその思いがぶれないからだと思います。

現在、会員も増え15名になりました。興味のある方はお立ち寄りください。定例活動日 第1木曜日(主にふれあいプラザ会議室③)



みんなで楽しくぬりえ



6月はバラ!
きれいにできました

色鉛筆画「すみれの会」へのお問合せは大戸さんまで
0476-95-4177

= 地域で市民活動・ボランティア活動をしている人の「はじめの一步」紹介コーナー =

私これではじめました!

◆ 駅前をきれいに!

藤澤 晴子

No. 24

まだ都内で仕事をしていた15年前、夫から買いたい家があるから一緒に見に行こうと誘われ、初めて安食駅にきました。改札口を出た瞬間、目に飛び込んできたのは真っ赤に燃える大きな大きな夕日でした。そして頬を撫でていく心地よい風に包まれました。私は、それまでの疲れが嘘のように消えていく自分を感じながら、心の中でここに住もうと叫んでいました。それから8年後、正式に栄町住民になりました。住んでみると豊かな自然に恵まれてはいるのですが、町に活気がないように感じられ、何か町に貢献できることはないかと有志と話し合っている中で、安食駅前は町の玄関なのにゴミや雑草だらけでみっともないねという話になり「安食駅前・美化清掃友の会」の活動を始めることにしたのです。

微力ですが、これからも仲間と力を合わせて一緒に頑張っていこうと思っています。

宜しくお祈りします

